

春 ようこそ！

学童保育へ

編集部

＊学童保育は地域によって「学童クラブ」「子どもクラブ」「児童ホーム」「育成室」など、さまざまな名称で呼ばれています。国は、「放課後児童クラブ」と呼んでいます。

四月、新たな出会いの季節です。はじめて学童保育と出会う子どもと保護者の方々、そしてすでに学童保育で生活している子どもたちも、新しい関係のはじまりに、さまざまな思いを抱いていることでしょう。

子どもたちは学童保育で、どのように過ごしているのでしょうか。



「ただいま！」と学童保育に帰ってきた子どもたちを、指導員が「おかえり！」と迎えます。子どもたちは毎日の「生活の場」である学童保育で、遊んだり、宿題をしたり、くつろいだり、困らんしたり、一緒におやつを食べるなどして放課後の時間を過ごします。近くの公園に遊びに行ったり、一日保育の日に昼食づくりを行う学童保育もあります。また、疲れていたり体調が悪いときには、心身を休めて過ごします（本誌三三三頁参照）。

学童保育は、安心して過ごせる「生活の場」であることが必要です。私たちは、子どもが必要とする期間、学童保育に通いつづけられるように支えるとともに、保護者と指導員、そして保護者同士が信頼関係を築き、共に子育てをしていくことを大切にしています。

* * *

学童保育の成り立ちをふり返ると一九五〇年頃にさかのぼります。それ以降、全国各地で保護者と指導員をはじめとする関係者が力をあわせて自主的につくり、広がられていきました。一九九七年、学童保育関係者の長年

つづきは本誌を「らんくください」

